

<第2次試験まであと10日>合格必勝の鉄則

●勝利の鉄則

「敵を知り、己を知れば、百戦危うからず」(孫氏の兵法)

●2013年度の英語合格率:73.7%、全外国語:75.8%

正規通訳案内士、ヤミガイドを問わず、通訳ガイド料金を下げたい大手旅行会社の意向により、観光庁は、2014年度も大量の合格者を出す予定である。

●合否判定票・試験場

<http://hello.ac/saitenhyou2.pdf>

●試験場が昭和女子大の受験者へ

教室の中のやり取りをしっかりと聴くように！

●通訳案内士試験のウラオモテ全てをお話しました。

<第2次口述試験対策特別講演会(2.0)>(9月13日開催)

・資料(最終ページ増補)

<http://hello.ac/2014secondexam.pdf>

・動画サイト

<http://youtu.be/KByZiCX6tr4>

<第2次口述試験対策特別セミナー>(11月16日開催)

・資料(改定増補版)

<http://hello.ac/2014.2jiseminar.pdf>

・動画サイト

<http://youtu.be/r1aB8GqG8Xs>

・「300選」をほぼ完璧に暗記武装した「スーパー高校生」Kさんの面接風景

<http://youtu.be/D2yp3eoUvj0>

●遂次通訳試験の秘策 ⇒ 試験官の話を映像化(ビジュアライズ)せよ。

皆さんも経験的にはご存知だと思いますが、人の記憶というもの(短期記憶も長期記憶も)は、言葉(文字)(左脳＝論理的思考担当)だけではなく、記憶すべき内容を映像化(右脳＝全体的なイメージ処理担当)することにより、格段にリテンション(記憶保持力)が高めることができます。メモは最低限にして、この映像化の利点を大いに利用してください。

●プレゼンテーションの三つの鉄則

<鉄則その1>通訳案内士(通訳ガイド)の立場(視点)から

<鉄則その2>外国人観光客の訪日旅行をテーマとして

<鉄則その3>与えられた「スピーチのトピック(話題)」について話すこと

(<第2次口述試験対策特別講演会>の17ページご参照のこと)

●2013年度のプレゼンテーションのテーマ

各時間帯に「日本の事象英文説明 300 選」で回答できるテーマが必ず一題入っていることに注意！

- (1)浮世絵について(「300 選」P.52)
- (2)旅館について(「300 選」P.16)
- (3)東京が日本の他の地域と異なる点について
- (4)温泉について知っておくべきこと
- (5)日本の宗教について(「300 選」P.70)
- (6)日本の季節ごとに見られる草花について
- (7)居酒屋について(「300 選」P.42)
- (8)日本の伝統芸能について(「300 選」P.44)
- (9)2011 年の東日本大震災の最も被害を受けた地域とその現状について
- (10)侍について(「300 選」P.10)
- (11)日本でお薦めのスキー場
- (12)日本で年末年始に行われること
 - ・年末に行われること:忘年会、大晦日、年越しそば、除夜の鐘(「300 選」P.95-97)
 - ・正月に行われること:正月、年賀状、初詣、新年会(「300 選」P.81-83)
- (13)富士山(「300 選」P.18)
- (14)絵馬について(「300 選」P.76)
- (15)19 世紀の日本に起こった大きな変化について
- (16)東北の魅力的なスポットについて
- (17)江戸について
- (18)新幹線について(「300 選」P.16)

●<世界無形文化遺産>に注意

2014 年 11 月 27 日に「和紙」がユネスコ世界無形文化遺産(Intangible Cultural Heritage)に登録されました。昨年の「和食」に続いて、2年連続の登録となりました。

- 能楽(傑作宣言)(2008)
- 人形浄瑠璃文楽(傑作宣言)(2008)
- 歌舞伎(傑作宣言)(2008)
- 雅楽(2009)
- 小千谷縮・越後上布(2009)
- 石州半紙(2009)
- 日立風流物【茨城】(2009)
- 京都祇園祭の山鉾行事【京都】(2009)
- 甕島のトシドン【鹿児島】(2009)
- 奥能登のあえのこと【石川】(2009)
- 早池峰神楽【岩手】(2009)
- 秋保の田植踊【宮城】(2009)
- チャッキラコ【神奈川】(2009)
- 大日堂舞楽【秋田】(2009)
- 題目立【奈良】(2009)

アイヌ古式舞踊【北海道】(2009)
組踊(2010)
結城紬(2010)
壬生の花田植【広島】(2011)
佐陀神能【島根】(2011)
那智の田楽【和歌山】(2012)
和食:日本人の伝統的な食文化(2013)(←注意)
和紙(2014)(←注意)

●<世界遺産>も要注意

【世界文化遺産】(World Cultural Heritage)

- ・法隆寺地域の仏教建造物(1993年12月)
- ・姫路城(1993年12月)
- ・古都京都の文化財(1994年12月)
- ・白川郷・五箇山の合掌造り集落(1995年12月)
- ・原爆ドーム(1996年12月)
- ・巖島神社(1996年12月)
- ・古都奈良の文化財(1998年12月)
- ・日光の社寺(1999年12月)
- ・琉球王国のグスク及び関連遺産群(2000年12月)
- ・紀伊山地の霊場と参詣道(2004年7月)
- ・石見銀山遺跡とその文化的景観(2007年6月)
- ・平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群(2011年6月)
- ・**富士山—信仰の対象と芸術の源泉(2013年6月)(←注意)**
- ・**富岡製糸場と絹産業遺産群(2014年6月)(←注意)**

【世界自然遺産】(World Natural Heritage Site)

- ・屋久島(1993年12月)
- ・白神山地(1993年12月)
- ・知床(2005年7月)
- ・小笠原諸島(2011年6月)

●心構えの鉄則(試験場であがらないために)

自分の力が100%発揮できれば、それで良いと考える。⇒大前提

<人事を尽くして天命を待つ>が理想の心境 ⇒ 落ち着いて受験することができる。

他人に試験のことは話さないこと。⇒ 潜在意識に余計なストレスを与えてしまう。

試験官とは、談笑するような気持ちで接すること。⇒ 味方につけてしまう。

最後は、何が何でも通訳ガイドになりたいという熱意、やる気を示す!

合否判定方法・試験室(重要)

採点方法と合否判定方法(ルール)を知っておくことは、受験者(プレーヤー)として、極めて重要なことです。受験者は、下記を熟知した上で、試験準備を行ってください。

(但し、下記は、通訳案内士試験ガイドライン、JNTO、観光庁、JTBの知人、友人から聞いた話をベースにして、私が推定したものですので、事実と異なる可能性もあります。予め、ご了解の上、お読みください。)

【1】採点票 (Evaluation Form)

通訳案内士試験ガイドラインに記載されていることを基にして「採点票」を作成すると、下記のようになります。

採点票 (Evaluation Form)			
評価項目	評価点(5点満点)	コメント	総合判定
①プレゼンテーション	点		
②コミュニケーション	点		
③文法及び語彙	点		
④発音及び発声	点		

⑤ホスピタリティー(やる気、熱意)(入室から退出までホスピタリティーの精神で!)

【2】採点方法(推定)

日本人試験官および外国人試験官は、4つの評価項目(5点満点)について、5段階の評価をします。

【3】評価点と合否判定(推定)

合否は、評価点の合計点ではなく、個々の評価項目の評価点で判定されます。

- 評価点が、3点～5点は合格、1点～2点は不合格となります。
- 4つの評価項目の中で、1項目でも1点～2点があれば、その受験者は、総合判定で不合格となります。

5点:(合格) Excellent
4点:(合格) Very good
3点:(合格) Good

2点:(不合格) Poor
1点:(不合格) Very poor

【4】最終的な合否判定方法(推定)

- (1) 総合判定が、二人の試験官がともに「合格」の場合は、「合格」となります。
- (2) 総合判定が、二人の試験官がともに「不合格」の場合は、「不合格」となります。
- (3) 総合判定が、一人が「合格」、一人が「不合格」の場合は、「不合格」とした評価項目について、(コメントを参考にしながら)両者が協議をして、最終的な合否を決めます。

【5】試験室(らしい):「**常在戦場**」の意識を高めるために、携帯、スマホの待受画面にすること。



＜昭和女子大で受験する方へ＞

東京の試験会場である昭和女子大は、教室の音声が廊下までよく聞こえる教室があるので、当会場の受験者は、今から、周りのささやき声を聴く練習をしておくこと。事前に、通訳、プレゼンテーションの内容が分かれば、ゆっくり準備ができます。



＜通訳案内士試験の本質をより深く理解するために＞

●通訳案内士試験事業は、JTB グループが6年連続で受託、実施しています。

2009 年度から 2014 年度までの6年間に渡り、通訳案内士試験事業の運営は、JTB グループの株式会社 ICS コンベンションデザインが、JNTO より受託、実施してきましたが、6年間の受注契約の総額は、3 億 1817 万円で、1 年度あたり、5,303 万円となります。通訳案内士試験事業は、表向きは「一般競争入札」方式にはなっていますが、実態は色々な条件を設定した「随意契約」に近いものになっているので、ICS コンベンションデザイン以外の会社が受注することは極めて困難な状態になっています。私自身も、2009 年度試験事業に関する「一般競争入札」の説明会に参加しているので、事情はよく分かっているつもりです。普通の感覚からすると、「一般競争入札」で6年連続して同じ会社が受託するという事は非常に不自然なことです。発注官庁(この場合は、独立行政法人 JNTO)と癒着関係にある会社が連続して受託することは、よくあることで、珍しいことでもありません。つまり、JTB グループは、JNTO とズブズブの癒着関係にあるということです。

●ICS コンベンションデザインによる 2009 年度から 2014 年度までの落札価格と総額

- ・2009 年度、2010 年度通訳案内士試験事業 (93,450,000 円)
- ・2011 年度通訳案内士試験事業 (56,700,000 円)
- ・2012 年度通訳案内士試験事業 (55,650,000 円)
- ・2013 年度通訳案内士試験事業 (55,125,000 円)
- ・2014 年度通訳案内士試験事業 (57,240,000 円)
- ・6年間の総額:3 億 1817 万円 (年平均:5,303 万円)

上記は、JNTO の下記サイトでご確認いただけます。(2014 年度の例)

http://www.jnto.go.jp/jpn/about_us/contracts_bids/bid_result/bid_results_2014.html

●JTB グループが通訳案内士試験を運営するというブラックユーモア

一方で、無資格ガイド(ヤミガイド)を使い、通訳案内士制度を崩壊させることに奔走してきた JTB グループが、他方では、通訳案内士試験事業を受注して、年間 5,300 万円もの売上げを上げているという事実は、ブラックユーモアそのものでして、通訳案内士試験の受験者、合格者を愚弄しているといふ言いがありません。さらに詳しくは、下記サイト(通訳案内士業界の諸問題)をご覧ください。

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/205d9d64395041166aee0c1cfeb425e7>

●ヤミガイド110番

業界の健全化のために、ヤミガイドに関する情報をお知らせください。不正、不法行為を天下に公開したいと思います。

件名:ヤミガイド110番

宛先:info@hello.ac

内容:下記を必ず明記してください。

(1)旅行会社(支店)名(電話番号)、担当者名(携帯番号) (2)ツアーの内容:催行月日、訪問場所、できれば旅行日程表 (3)ヤミガイドの氏名、携帯番号

●JTB 九州が、ヤミガイドを募集した例

このような動かぬ証拠があれば、是非、ご提供ください。

<http://www.hello.ac/exam/pdf/china.pdf#zoom=100.pdf>

●観光庁のアリバイ作りの＜口頭での注意処分＞

JTB グループと癒着関係にある観光庁は、JTB 九州に対して、アリバイ作りのために、簡単なく口頭での注意処分＞でお茶を濁したのみでした。誠に情けない話ですが、カネ儲けのために、官民ともに腐っているのが現状です。

<http://www.recordchina.co.jp/group.php?groupid=40879>